7月12日（日曜日）「人の歩みは」

【新改訳 2017】

箴言　16•1－9

「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、その人の歩みを確かなものにするのは主である。」（9節）

　私たちは生きている限り自分の道をいろいろ考えます。そして、自分のことは自分で決めて自分の責任でやっていくのが大人だと考えます。自分の思い通りにいかないこともたくさんありますが、多くの人はその時、運が悪かっただけで片づけてしまいます。が、聖書は、人の歩みを確かなものにするのは主なる神であると明言しています。その導きが最善なのです。それは本当です。

　筆者も信仰に導かれて四十数年、何回も大きな岐路で迷いました。最初は洗礼の時、病人だったため電気でお湯を沸かし、風呂場で行う予定が、電気系統の故障で延期になり、故障を直すことのできない神だ、と勝手につまずきました。しかし、主はできなかったのではなく、許されなかったのです。そのきっかけから驚くべき幸いな歩みに導かれ、今日に至っています。

神に信頼しましょう。どんな時にも。

～祈り～

主よ。あなたは、あなたの子どもたちの歩みを確かなものにしてくださいます。あなたの導きに拠り頼んで歩めるように助けてください。その時、祝福があることを体験するように。

【学びのために】

箴言 19•21, 20•24、ヤコブ 4•13-15 参照。